

## 部会だより

### システム研究部会終了報告

実際に発足したのが45年11月16日の第1回部会であった。メンバーとして20名の会員が申し込んだが、以後の部会には平均7名の出席であった。47年4月14日で終了する。

経過：発足当初から、システム部会の研究対象について、部会メンバーの間の概念を統一することが必要であった。そのため、第1年度はシステムの構成概念の明確化を目標にして、C. W. Churchman 著、*The Systems Approach*, 1968, Delacorte Press をテキストにし、現実の問題との関連において、概念の明確な適応と実際のアプローチを試みるという方向で討論をした。

おもな対象は、在庫機能・システムのマネジメント・効率主義とシステムアプローチ、などであった。

第2年度においては、やや形式的に整った研究方向をとりあげることにし、M. D. Mesarović 著、*Theory of Hierarchical, Multilevel Systems* (1970), Academic Press の第1部 Hierarchical Systems をテキストとした。組織における意思決定階層の把握、目標の展開、組織とシステムなどがおもな討論対象であった。

2年間を通じて、自由討論に終始してしまっただけであるが、とりあげた文献、討論内容はともに有益であった（主査：松田正一 幹事：出居 茂<報告者>）。

## 支部だより

### 東北支部

#### 1. 会員状況

個人会員50名、賛助会員2社で、ここ数年減少気味であることはいささか淋しいが、新人や若手の入会もチラホラ、わずかずつの新旧交替が見受けられます。今後はこれら新会員の活躍に期待したいところです。

今まで特別な会員拡充活動もなかったわけですが、再来年、仙台での秋季大会開催が予定されていますので、これを機会に今年から本格的な会員勧誘を行なう予定にしています。

#### 2. 活動状況

##### (1) 46年度活動内容

##### ◎ OR 勉強会

前年度に引き続き、4月より10月まで、毎月1回のOR勉強会を行ないました。この会は、近藤次郎著『オペレーションズ・リサーチ入門』をテキストにし、地元東北大学の先生を講師とした講義形式による勉強会で、対象を管理者としました。参加者

は毎回10名未満と割合い少数にとどまったことは、参加案内に若干不備があったためではないかと反省しております。

##### ◎ OR 講演会

3月13日、東北電力主催により、静岡大学学長・次期OR学会会長の小野勝次先生を講師とした「ORともの考え方」と題しての講演会が催されました。講演は約2時間にわたり、経営の中におけるORの重要性、適用上の注意、経験やカンとの関連、さらにOR的なものの考え方など、多くの事例を交えてのきわめて有益なものでした。

なお、終了後、小野先生を囲み、浅田支部長以下支部役員が出席して懇談会を催しました。

##### (2) 47年度活動予定

##### ◎ OR 研究会

事例発表により素材提供をし、これに対する自由な討議によってORの研究をしようという「OR研究会」を新たに発足することにしました。これは、一応年4回を目標に、毎回夜2時間程度を予定していますが、なるべく素材を集め、もっと多く開

催し、これによって、会員の親睦の場と新会員勧誘の手段にもしたいものと考えています。

この会は、毎回支部会員全員に往復ハガキで案内

回	期 日	テ ー マ	発 表 者
1	8月21日 (月)	設備計画の数学的 モデル化	東北大学工学部 教授木村正行氏
2	9月18日 (月)	統計的手法による 交通事故解析	東北工業大学 安藤二郎氏
(下期については下記のものから選定)			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東北地域の産業連関表による経済構造分析・電力需要予測手法</li> <li>● 設備の取替モデル</li> <li>● 新聞業における OR の活用</li> <li>● 東北の景気変動と電力需要との関連</li> </ul>	

し、その職場の会員外の方々にも口コミで広く参加していただく予定ですが、いまのところ左記のような計画をたてています。

◎ その他

企業内で開催される OR 関係の講演会には、支部としても会員に案内を出し、広く聴講できるよう便宜をはかることにしています。

なお、5月末の支部総会において、昨年北海道支部から東北支部に転入された東北大学経済学部教授竹内 清氏による「回帰分析における観測誤差の影響」と題する特別講演が行なわれました。

支部規約については、OR 学会の法人化を機会に改正すべき点も見受けられますが、とりあえず会計年度のみを変更し、本格的見直しは今年度中に行なうこととしています。  
(五十嵐豊)



国際会議のおしらせ

下記の国際会議のパンフレットが、学会事務局に届いております。ご希望の方は、お申し込みください。

会議名：First International Research Conference

期 間：1973年9月4日～7日

会 場：Grosvenor Hotel, Chester, England

主催者：Operational Research Group, University of Sussex

この会議の目的は、各国の OR 研究者、経営科学者の参加のもとに、関係する多くの問題領域についての総合報告と討論を行なおうとするものです。

会 合 (47年6月～7月) (かっこ内は出席者数)

第1回理事会 47.5.28(21) 議題 1. 申し送り事項および引き継ぎ事項の確認 2. 総会決議事項の報告と確認 3. 支部長会議の件 4. 各委員会委員、幹事の推薦と承認 5. 組織強化委員長の件 6. 会長不在時の会長代行の件 7. 会長印の登記の件 8. 議事録の承認の件 9. 入退会の件 10. 職員採用の件 (6月1日から村上芳子職員を採用)

第2回理事会 47.6.22(16) 議題 1. 前回理事

会議事録の承認 2. 広告委員会委員の推薦と承認 3. 学会運営連絡用紙の採用 4. 学会誌の15周年記念特集の件 5. 学会誌のバックナンバーの販売価格の件 6. 第6回 OR 国際会議参加の日本代表の件 7. フェロー推薦の件 8. 法人化委員会の件 9. 入退会の件 10. 学会誌交換の基準の件 11. 各担当理事および委員長の本年度の業務の件 12. 委員会等の予算内訳の件

第3回理事会 47.7.20(16) 議題 1. 第2回理事会会議事録の承認 2. 第6回 OR 国際会議参加の日本代表の件 3. 会員増強委員会委員の件 4. 会員増強のための方策および文書などの件 5. 職員就業規則、給与規程の件 6. 入退会の件 7. コーポレート・プランニング視察団の件 8. 研究普及委員会の今年度の業務方針 9. その他

支部長会議 47.5.28(10)

IAOR委員会 47.6.20(2); 47.7.21(2)

会員増強委員会 47.6.28(3)

IFORS・TIMS 準備委員会 47.7.19(6)

編集委員会 47.7.28(9)

OR 金曜サロン 47.7.7(9) “組合せ理論と OR”

庶務幹事会 47.6.8(9); 47.7.4(8)

会計幹事会 47.6.8(4); 47.7.4(3)

国際幹事会 47.6.14(2)